

RL78 ファミリ CC-RL コンパイラ用
EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 Ver.1.01
リリースノート

R20UT3485JJ0101
Rev.1.01
2016.04.15

この度は、CC-RL コンパイラ用 EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 Ver.1.01 をご使用いただきまして、誠にありがとうございます。

この添付資料では、CC-RL コンパイラ用 EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 Ver.1.01 をお使いいただく上での制限事項および注意事項等を記載しております。ご使用の前に、必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。

目次

1. 対象製品.....	2
2. ユーザーズ・マニュアル.....	2
3. バージョンアップ内容.....	2
4. 対応ツール.....	3
5. インストール.....	4
5.1 インストール方法.....	4
5.2 アンインストール方法.....	4
5.3 ファイル構成.....	5
6. デバッグ方法.....	6
6.1 デバッグ時の注意事項.....	6
7. セクションの配置指定.....	6

1. 対象製品

本リリースノートの対象製品を示します。

製品名	Ver.	ZIP ファイル名	Zip Ver.
RL78 ファミリ CC-RL コンパイラ用 EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02	Ver.1.01	JP_R_EEL_RL78_P02_V1.01_CCRL_B_J	V1.01B

2. ユーザーズ・マニュアル

本バージョンは下記のユーザーズ・マニュアルと差分文書に対応しています。ご使用時はユーザーズ・マニュアルと差分文書の両方を必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。

マニュアル名	資料番号
RL78 ファミリ EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 ユーザーズ・マニュアル	R01US0068JJ0101
RL78 ファミリ CC-RL コンパイラ用 EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 CA78K0R コンパイラ版と CC-RL コンパイラ版の差分	R20UT3486JJ0100

3. バージョンアップ内容

本バージョンのバージョンアップ内容を示します。

No.	ZIP Ver.	対象	内容
1	V1.01B	ライブラリ	ZIP ファイル(JP_R_EEL_RL78_P02_V1.01_CCRL_A_J)からライブラリ本体の変更はありません。
		ユーザーズ マニュアル	Rev1.00からRev1.01に改版 改版内容につきましては、ユーザーズ・マニュアルの改版履歴をご参照ください。
		差分文書	ZIP ファイル(JP_R_EEL_RL78_P02_V1.01_CCRL_A_J)から差分文書の変更はありません。

4. 対応ツール

CC-RL コンパイラ用 EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 Ver.1.01 を使用する場合には、下記のバージョンを使用してください。

ツール名	バージョン
統合開発環境 : CS+	V3.01.00 以降

5. インストール

この章では、CC-RL コンパイラ用 EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 Ver.1.01 のインストールとアンインストールの手順について説明します。

5.1 インストール方法

EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 のインストールは次の手順で行います。

- (1) Windowsを起動します。
- (2) EEPROMエミュレーション・ライブラリ Pack02が入っている圧縮ファイルを解凍し、展開されたフォルダをユーザ任意の場所に配置します。

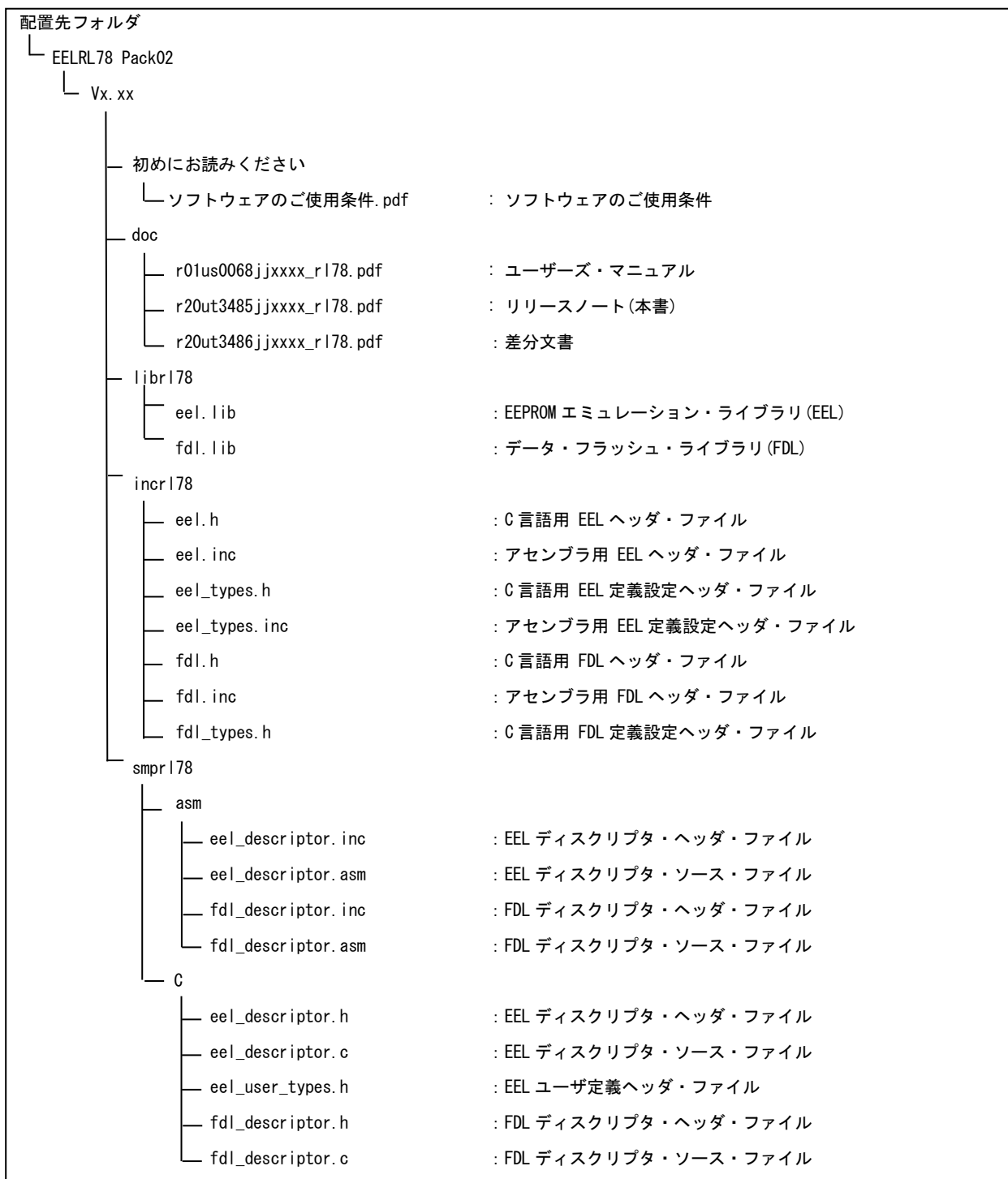
5.2 アンインストール方法

EEPROMエミュレーション・ライブラリ Pack02 のアンインストールは次の手順で行います。

- (1) Windowsを起動します。
- (2) ユーザ任意の場所に配置したEEPROMエミュレーション・ライブラリ Pack02 が入っているフォルダを削除します。

5.3 ファイル構成

CC-RLコンパイラ用EEPROMエミュレーション・ライブラリ Pack02が入っている圧縮ファイルを解凍することによって、展開されるファイルの構成は、次のとおりです。



注1. xはバージョン番号、またはRev番号の為、省略しています。

6. デバッグ方法

IECUBE, またはオンチップ・デバッグ・エミュレータE1, 及びE20を使用してデバッグを行う場合につきましては, 以下の資料の参照してください。

タイトル
CS+ 統合開発環境 ユーザーズマニュアル RL78 デバッグ・ツール編 ^{注1}

注1. このドキュメントは, 弊社HPの「統合開発環境 CS+」のページからダウンロードしてください。

6.1 デバッグ時の注意事項

(1)フラッシュ・ライブラリのデバッグはシミュレータでは実行できません。デバッグを行う場合は, RL78 マイクロコントローラのオンチップ・デバッグ機能を使用するか, もしくはIECUBEをご用意ください。

7. セクションの配置指定

CC-RL コンパイラでは-start オプションでセクション配置が指定できます。

-start = [セクション名]/アドレス

(注意: サイズは設定されません。) ^{注2}

EEPROM エミュレーション・ライブラリ Pack02 で設定が必要となるセクションは, "-start オプション" で全て指定してください。

また, CA78K0R コンパイラではユーザプログラムが使用しない領域としてセルフ RAM の領域を確保していましたが, CC-RL コンパイラでは使用しない領域は, そのアドレスに何も設定する必要がないため, セルフ RAM 領域に対する指定は不要です。

注2. 各データの定義や配置方法等の詳細についてはCS+のユーザーズ・マニュアルを参照してください。

また, ビルド時に生成されるマップ・ファイル(*.map)を必ず参照し, 各データの配置状態を確認してください

すべての商標および登録商標は, それぞれの所有者に帰属します。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して、お客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害に関し、当社は、何らの責任を負うものではありません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。かかる改造、改変、複製等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。

標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、
家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等

高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、
防災・防犯装置、各種安全装置等

当社製品は、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（原子力制御システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、使用することはできません。たとえ、意図しない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に損害が生じて、当社は一切その責任を負いません。なお、ご不明点がある場合は、当社営業にお問い合わせください。

6. 当社製品をご使用の際は、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他の保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
9. 本資料に記載されている当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。また、当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途に使用しないでください。当社製品または技術を輸出する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。
10. お客様の転売等により、本ご注意書き記載の諸条件に抵触して当社製品が使用され、その使用から損害が生じた場合、当社は何らの責任も負わず、お客様にご負担して頂きますのでご了承ください。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。

注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社がその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。



ルネサスエレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス株式会社 〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24（豊洲フォレシア）

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/contact/>